

選考委員長 長谷部 伸治

日産財団では、女子児童・生徒の理科への興味・関心を高める活動の中で、特に優れた成果を残した個人または団体を対象に、「日産財団リカジョ育成賞」を授与している。

本年度は、2021年6月1日から2022年1月23日までの公募期間に、昨年度(21件)を上回る26件の申請があり、この中から5月の選考委員会において、第5回日産財団リカジョ育成賞グランプリ候補として3件を選定し、10件に奨励賞を認定した。

COVID-19の影響で、長期に渡り対外活動が制約されている。応募・受賞された皆様には、このような状況を克服するための様々な工夫をして活動を継続されるとともに、その工夫・成果を広く社会に発信していただくことを期待する。また、今回グランプリ候補には選出されなかったが、理系の学協会からも応募いただいた。このような専門家集団の関与は、リカジョ育成に非常に有意義であり、今後とも継続して活動を続けていきたい。

#### 【第5回日産財団リカジョ育成賞 グランプリ】

##### ●小山工業高等専門学校:

生徒の理工系に関する意識レベルによりステージを3つに分け、それぞれに対して特徴的な取り組みによって、理工系への進学を支援しようとする取り組みである。女子生徒の意識等の実態を正確に把握し、それを踏まえた取り組みとしている点や、生徒のみならず保護者を巻き込んだ活動としている点、さらに関係市町村や教育委員会と連携して活動している点を高く評価する。JST採択プログラムとしての活動終了後も、これまでの資産を活かし、継続して活動を続けていきたい。

#### 【第5回日産財団リカジョ育成賞 準グランプリ】

##### ●一般社団法人スカイラボ:

女子高校生を対象としたワークショップにより、将来のSTEAMリーダーを育成しようとする活動である。よく練られたカリキュラムで実施されている点や、リカジョの底辺を広げる活動に関する応募が多い中でトップを伸ばす活動である点を評価する。参加者の意識変化を定量的に調査されている点も評価できる。将来のリーダー育成という点を考えると、本ワークショップ参加者がどのようなキャリアパスを構築できたかなど、参加者に対する長期にわたる調査にも期待したい。

#### 【第5回日産財団リカジョ育成賞 準グランプリ】

##### ●東京都立戸山高等学校:

大学院生や研究者として活躍する女性との交流会を中心とした取り組みである。自校以外の女子中高生を含めた活動としている点や、単なる講演会ではなく生徒からの発表を含めた会としている点、またその活動を長年にわたり実施している点を評価する。広く参加者を募ることができるオンラインでの活動の利点と、向き合って話ができるという対面実施の利点をうまく組み合わせた活動を、今後とも継続されることを期待する。